

豊かな心を育む文化芸術活動の推進



- ▶ 若者・子育て世代を中心に幅広い年齢の市民が、宗像ユリックスやコミュニティ・センターなどを拠点に様々な文化芸術を享受し、活動することができている

現状



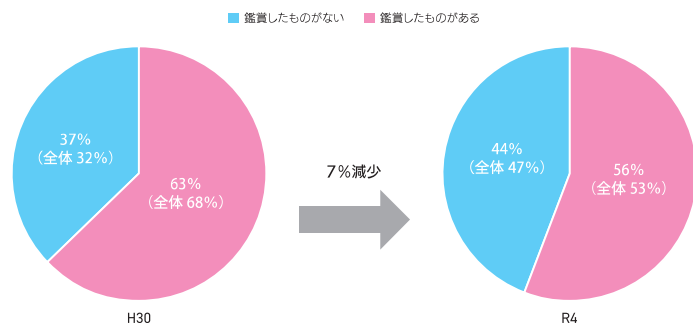
- ▶ 文化芸術の多様化に伴い、市民の文化芸術に対するニーズも多様化しています。
- ▶ 市民が文化芸術活動を体験・発表する機会がありますが、事業によっては出演者、鑑賞者の固定化、高齢化が進んでいます。
- ▶ 市内で文化芸術活動に関わる人の裾野は広がっています。
- ▶ 多様な団体や個人が文化芸術振興に取り組んでいますが、市外の人たちにも知れ渡るような文化芸術の創出に至っていない状況です。
- ▶ 児童・生徒・学生と連携した事業が少ない状況です。

課題



- ▶ 幅広い年齢の市民が参加する様々なジャンルの文化芸術を体験、鑑賞できる機会を創出していく必要があります。
- ▶ 若者・子育て世代を中心に、より多くの市民が市民文化芸術活動の体験・発表の場として参加できるように、文化事業や地域のイベントを充実させる必要があります。
- ▶ 地域で活躍する文化芸術活動の担い手がさらに成長できるように、個人や団体の育成を支援する必要があります。
- ▶ 本市の魅力向上に寄与する文化芸術の創出を目指す必要があります。
- ▶ 市内の学校と連携し、児童・生徒・学生が継続的で多様な文化芸術活動に取り組み、学校の枠にとられない事業を創出する必要があります。

18歳以上49歳以下の市民が最近1年間に、公演や展覧会などで文化・芸術・娯楽などを直接鑑賞した割合



主な取り組み

- 市民ニーズに合った幅広いジャンルの文化芸術事業の実施
- 子どもを中心に多くの人が参加できるような芸術や文化に触れる機会の創出
- 補助金などによる若手芸術家を中心に多様な団体や個人の活動の支援
- 市内で開催される音楽・芸術などの大型イベントへの支援
- 学校や地域及び文化協会などと連携した体験的な学習活動の支援や中学校部活動の地域移行の実施



市民団体が補助金を活用して宗像ユリックスで開催したコンサート



宗像ユリックスで開催された大型イベント（宗像祭2023）



成果指標（KPI）

指標名	現状	中間目標（R11年度）	最終目標（R16年度）
18歳以上49歳以下が、最近1年間に、公演や展覧会などで文化、芸術、娯楽などを直接鑑賞した割合	56%	60%	70%
18歳以上49歳以下が、最近1年間に、公演や展覧会などで文化、芸術、娯楽などを行った割合	50.3%	55.0%	60.0%